

令和 6 年度 住之江区区政会議

第 3 回愛しむ部会 会議録

1 開催日時 令和 7 年 2 月 4 日（火） 1 9 時 0 0 分から 2 0 時 0 0 分まで

2 開催場所 住之江区役所 2 階 すみのえ舞昆ホール

3 出席者

〔区政会議委員〕

長谷 克己 委員、大西 徹 委員、田貝 泉 委員、竹内 周次 委員

谷本 さやか 委員、中川 智子 委員、吉川 宏健 委員

（出席 7 人／定数 8 人）

〔住之江区役所〕

吉田 政幸 副区長

井平 伸二 協働まちづくり課長

来馬 恵 I C T ・企画担当課長

松本 勝也 保健福祉課長

岩本 穰 生活支援課長

福田 佳代子 保健担当課長

川井 圭史 協働まちづくり課長代理

峯上 和博 I C T ・企画担当課長代理

大家 典子 保健福祉課長代理

片山 佳子 保健副主幹

戸井 正人 生活支援課長代理

本田 弘美 保健副主幹

○井平協働まちづくり課長

それでは、令和6年度住之江区区政会議、第3回愛しむ部会を開催します。

事務局の協働まちづくり課長、井平です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日出席いただいています委員をご紹介します。お手元の名簿にて御確認ください。

会場にお越しいただいている委員は、長谷部会長、大西委員、谷本委員、竹内委員、田貝委員、吉川委員でございます。茶谷委員と中川委員はちょっと遅れておられます。

本会議は、午後7時現在、全委員8名中6名のご出席をいただいておりますので、定足数である委員定数の2分の1以上を満たしておりますことを、ご報告いたします。

住之江区役所の出席者につきましては、配席表にてご確認ください。また、発言する際には、役職と名前をお伝えいたします。

この会議には、個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。また、本日の傍聴者はおられません。

なお、大阪市では近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や職員の働き方改革の観点を踏まえまして、軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますので、ご了承ください。

本日の議論の内容は、3月14日の金曜日に、開催予定の区政会議全体会にてご報告いただき、情報共有を図ってまいりたいと考えております。

また、議事録につきましては、後日公表となり、公表する際は発言者と発言内容についても公開されますのでご承諾いただきますようよろしくお願いいたします。

広報や記録のために写真を撮影しますので、併せてご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、本日の資料の確認をお願いいたします。

はじめに次第、次に愛しむ部会の委員名簿、片面が全体の名簿になっています。

その次に、配席図。

その次に、資料１「令和７年度住之江区運営方針（案）について」。なお、こちらの資料の指標について、一部、変更を予定しております。変更を予定している箇所につきましては、黄色で囲っております。黄色で囲っている箇所は、区民アンケートを運営方針の指標としておりましたが、大阪市全体で、現在の区民アンケートの回答数では指標に用いるには適していないとの答申がございまして、１月下旬に、各区へ運営方針の指標を、区民アンケートからほかの指標に再考するように指示がございました。各区判断ではございますが、住之江区は区民アンケート以外を指標とするよう、現在調整中でございます。指標が確定しましたら、全体会の資料にてお示しさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、資料２が「令和７年度住之江区予算事業一覧（素案）」。

資料３が「区政会議について」で、裏面が地域活動協議会について書いてある資料です。

また、机上に参考として「『住之江区将来ビジョン（案）』についてパブリック・コメントを実施します」という資料を置かせていただいております。

資料の不足はございませんでしょうか。何かございましたら、また言ってください。

本日の会議ですが、現在、策定に向けて進めております、令和７年度住之江区運営方針（案）についてご報告し、来年度の各取組がよりよいものとなるようご意見をいただきたいと思います。

時間は２０時までの１時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、住之江区将来ビジョンのパブリック・コメント

実施及び令和7年度住之江区予算事業一覧（素案）について、ICT・企画担当課長の来馬よりご説明させていただきます。

○来馬 ICT・企画担当課長

皆さん、こんばんは。ICT・企画担当課長の来馬でございます。

机上にお配りしております「『住之江区将来ビジョン（案）』についてパブリック・コメントを実施しております」をご覧くださいいただけますでしょうか。

本日ご議論いただく、「令和7年度の住之江区運営方針（案）」は、前回の全体会で区長から骨子をご説明させていただきました「将来ビジョン」をもとに作成しており、将来ビジョンに合わせ、項目の順序等も変更しております。

令和6年度運営方針までは、2－1が「地域の活力と魅力の向上」、2－2が「支え見守りあう地域づくり」でしたが、令和7年度運営方針では、「すこやか・まちづくり」という柱の名称に合わせ、2－1が「支え合い安心して暮らせるまち」、2－2が「活力と魅力あふれるまち」と変更しております。

また、具体的取組についても整理を行っております。

現在、来月3月5日（水）まで、将来ビジョンのパブリック・コメントを実施中でございます。区政会議委員の皆様にも、ご意見をお寄せいただければ幸いと思っております。詳細は、お手すきの際に資料をご確認いただきましてご意見をいただきたいと思っております。

次に、お配りしております、資料2「令和7年度住之江区予算事業一覧（素案）」をご覧くださいませでしょうか。こちらの資料につきましては、令和7年度の住之江区関連予算のうち「区長自由経費」として、区長マネジメントにより施策の選択と集中を進めながら予算算定を行った予算事業一覧でございます。今後、「案」として市議会でも議論していく予定となっております。

こちらの一覧には事業名として、1から37まで掲載し、本日、区政会議委員の皆さまにご議論をいただく「令和7年度住之江区運営方針（案）」に掲げております、

取組と区政会議の該当部会を、表の一番右側の列に示しております。

区政会議委員の皆様には、住之江区予算の概要や、どのような事業が行われているかなど、ご覧いただければと思います。

私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○井平協働まちづくり課長

それでは、ここから議事を開始しますので、部会長にお任せいたしまして進めていきたいと思ひます。部会長、どうぞよろしくお願いいたします。

○長谷部会長

それでは皆様、改めまして、こんばんは。今日は、今期1番の大寒波ということで、本当にこの夕べの非常に寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは部会の議事を進めさせていただきたいと思ひます。

本日は、令和7年度住之江区運営方針についてということで、早速でございますが、事務局よりご説明をいただきます。

井平課長、よろしくお願いいたします。

○井平協働まちづくり課長

よろしくお願いいたします。

本日の資料は、「令和7年度住之江区運営方針（案）」となっております。

運営方針とは、住之江区が、重点的に取り組む課題を挙げて、その課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっており、令和7年度も、「子どもに関すること」、「地域と福祉に関すること」、「防災防犯に関すること」の3つの経営課題を掲げています。

当部会では、そのうちの、「地域と福祉に関すること」の経営課題2、「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」について、ご議論いただくことになります。

資料には、この課題でめざす主なSDGsゴールを掲載しておりますので、ご参考にご覧ください。

それでは具体的な説明に入らせていただきます。

資料を1枚めくっていただきますと、令和7年度住之江区運営方針（案）についての概要を、簡単にまとめたものをつけさせていただいています。

これまでの取組の課題と方向性をふまえた7年度の計画を記載しておりまして、特にご意見をいただきたい箇所については、赤枠で囲んであります。この資料に基づき説明をさせていただきます。

それでは資料の1ページをご覧ください。

初めに、経営課題2-1「支え合い安心して暮らせるまち」の各取組についてご説明いたします。

まず具体的取組の2-1-1、『安心を提供する福祉施策の推進』です。

区民の困りごとに対してよりの確な支援につなげられるよう、区役所の全ての職員に対して「気づき」、「感度の向上」に関する研修を安定的に継続して実施し、相談対応力の向上を図ってまいります。

また、個別の支援にあたっては、関係機関の情報共有・連携のため、総合的な支援調整の場として、つながる場や生活困窮者支援会議（シェア会議）などを積極的に活用してまいります。

次に、具体的取組2-1-2、地域福祉の充実の取組といたしまして、見守りあったかネット連絡会を毎月開催し、各地域の課題や取組の共有を行うとともに、地域において、日頃から見守り活動の担い手となるサポーターを養成するため、見守りあったかネットサポーター養成講座を開催してまいります。

引き続き、新たな担い手を増やすため、サポーター養成講座への参加者が増えるよう地域のつながりの活用やニーズの明確化などにより、参加促進に取り組んでまいります。

次に、経営課題 2－2、『活力と魅力のあふれるまち』の各取組について、説明いたします。

まず具体的取組 2－2－1、多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進の取組といたしまして、多くの区民に必要な情報が届くよう、地域活動協議会自らが積極的な情報発信を行うことが必要であり、まちづくりセンターと連携し、地域活動協議会の情報発信等に係るスキル向上の支援を行ってまいります。

また、企業・NPO・学校・地域交流会等の継続的な開催により、地域課題の解決に向けた協働取組が、さらに活発になるよう支援を行ってまいります。

今年度、第 2 回企業・NPO・学校・地域交流会を 2 月 1 4 日金曜日に開催する予定です。時間がございましたらご参加いただければと思います。よろしくお願いいたします。

次に、具体的取組 2－2－2、地域の魅力の共有と発信の取組としまして、地域が情報を発信することができるポータルサイト「すみのえ情報局」を運営・活用して、区内関係団体等の情報発信を支援してまいります。

「すみのえ情報局」につきましては、利用投稿される団体に偏りがあるため、引き続き投稿支援を行いつつ、利用状況の検証を行い、その結果も踏まえて、ポータルサイトのあり方について検討してまいります。

また 1 2 ページのクローズアップに記載しておりますが、スマホの使い方を習得していただくため、住之江区内のふれあい喫茶等で「スマホちょこっと相談会」を開催しており、次年度も引き続き取り組んでまいりたいと思います。

令和 7 年度運営方針案の説明は、以上となります。

本日報告しました内容について、よりよい取組となるよう、幅広く委員の皆様のご意見をいただきたいと思います。

特にこれまでの部会でも意見をいただいております、「支援を必要とする人に寄り添い、支えることができる地域づくりを進める方法」や、「できるだけ多くの人

に地域の魅力や活動などいろんな情報を届ける方法」などについて、引き続きご意見をいただければと思っております。

私からの説明は、以上でございます。部会長よろしくお願いいたします。

○長谷部会長

ありがとうございました。

ただいまの事務局の説明を受けて、各取組についての質問や、よりよい取組にするために必要なこと、また事務局からの特にご意見いただきたいという依頼のあった内容について、ご意見、ご提案をいただければと思います。なるべく多くの委員さんからのご意見をいただきたいと存じますので、取りまとめていただいて、簡単にお話しいただければと思います。

どうか、よろしくお願いいたします。

ご質問等。

はい、竹内さん。

○竹内委員

竹内でございます。たくさんあるんですけど、簡単にします。最初パブリックコメントの募集のお話がありましたけども、要は昨日からオープンになりました、ホームページから。早速見させていただきました。

非常に分かりやすくなっていたと思うんですけど、ダウンロードした資料。今日もお配りした資料。それに比べると会場でいただいた資料が分かりにくかったなと。作成者が違うんですかね。ホームページの資料の表現というか、構成とか、レイアウトとか非常に分かりやすかったと思います。何となく思ったんですけども。

それで、少し長くなって申し訳ないんですけど、多分このいただいております資料だと、2ページの住之江区運営方針のところ、いただいたものを、過去のもの、去年いただいた令和6年と比較したんですよ。区長さんも変わられましたので、きっとそこに区長さんの考えとか思いとか入ってるなと思って、比較させていただいて、どこ

が変わってるかで見させていただいて。そしたら区役所機能の強化とか、官民連携のところで、発信の強化とか、強化するよということがあったり。その2つですね、大きなのは。

その辺りがこう書いてあるのに対して、具体的取組、表現は変わってないんですよ。具体的取組の1、順番は変えられて、3本あったやつを2個のほどにしていたということ、何かそういうことはあったけど。表現は変わってないんですよ。その辺りは何でだろうと思って、区長さんが言われてる、強化、連携とか、情報発信の強化とかいう、その強化するよということを、冒頭、運営方針でうたってはるのに、基本的取組に下りていったら、何かその強化は何をやりはるんやろうというのが読めないんですね。全く同じこと書いてあるから。この辺りは、何でだろうというのがあるんですよ。

その辺はもうちょっとこのあと、もし修正があると思うだろう。強化の多分意見が出るんだと思いますけれど、私も後で言わせていただくのですけれども。強化の方向をもう少し書いていただきたいなと、取組の内容ですね。この辺、もう1つ大きなお話があります。

もう1つが、経営課題2のところに、去年と比べたら「いきいきと」という言葉が入りました。現状課題の2、「すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」、去年に比べると、「いきいきと」という言葉が入りました。

これはどなたが入れられたか分かりませんが、非常にいい言葉だなと思って、この「いきいき」というイメージが何かあるはずなんで、それもやっぱりその具体的取組に入っていったときに、読めないんですよ。今までより、「いきいきと」という、「いきいき」とするためにどうするねんということが読めない、具体的に取組が、というのが、大きな印象です。

細かくはいろいろ、あと「て、に、を、は」も少しあるんですけど、割愛しますけど、この大きなところが。

あと、具体的取組の括弧で括ったところの意見を教えてくださいという、それはちょっとあとで言わせていただきます。今申し上げたところで、何か御説明あればお願いします。

○長谷部会長

竹内さん、ありがとうございます。

要は、この方針案等々で、文言1つじゃなくて、もっと具体的にいろんなことを表現してくれと、そういうことでいいんですかね。どういうことをどうするんだという事ですよね。

○竹内委員

過去から比べて、変わった、区長さんも変わった、強化させるという、強化の内容を書いてほしい。

○長谷部会長

その辺で何かご説明されることはありますか。

今ここでどうこうとできないでしょうけど、できるだけこれからも区政会議というのは行われると思うので、もうできれば、誰が見ても、ああこうするんだというのが分かるような、これ一応書式として決まってるんでしょうけど。添付でもいいから、そういう具体的なことは、何を具体化するんだとかいうようなことを分かりやすくしてやってもらえれば、これからこういう委員会に出てくる方も分かりやすいのではないかなと。

そういうことをこれから改良していただければなと思いますので。竹内さん、そういうことでよろしいですか。

○竹内委員

はい。

○長谷部会長

この件に関しては、何かご説明されることは。

○来馬 I C T ・企画担当課長

今、ご意見いただいたのは、将来ビジョンの施策推進のためにというところで、区役所の機能の強化であったりとか、官民連携の情報発信の強化というところを、ご意見いただいたかなと思うのですが、そちらのほうは各分野を支えるための手法として、施策推進の取組についての指針を定めたものなので、その運営方針の方まで、その強化というところがちょっと落ちていなかったのかと思うんですが。そういうところが運営方針の具体取組と、既存の取組強化という言葉と、ちょっと違うのかなと思いますので、御説明だけさせていただきました。

以上です。

○長谷部会長

ありがとうございます。こういう貴重なご意見いただけてますんで、こういう資料を作っていただく側の方も、それを踏まえて、誰が見てもそうするんだというのが理解できるような資料を作っていただければ幸いかなと思いますので、これからの課題としてよろしくお願いいたします。

続きまして、田貝さん。

○田貝委員

4 ページの一番下の方に、「地域で孤立せず、自分らしい生活を送ることができるような、気かけ、つながり、支え合う地域づくりを推進していく」というところで、大きく言って福祉施策を進めていくとあると思うんですが、介護予防教室というのを大体やってると思うんですね。

大阪市の中でも「なにわ元気塾」という名前でやっていて、そこをホームページで調べても、住之江区は載っていないんですよね。ほかの区ではやってるのに住之江区が出ていなくて、それはなぜ家から出ないような人、介護とか要支援の人になる前の段階なんですけど、それに関して住之江区は、今後どのようにしていこうと思っていられるのか、なぜよその区ができてるのにうちができてないかなという原因とか、そ

のことに关してどう思っているのかなというのを聞きたいです。

○長谷部会長

ありがとうございます。説明していただける担当は。

○福田保健担当課長

保健担当課長、福田です。

介護予防教室ですけれども、「なにわ元気塾」は、社協に委託になっていると思うんですけど、実施にいろんな課題があるのか実施に至っていないというふうには聞いています。

○田貝委員

大阪市の受託事業の一覧の中に、住之江区の社協は載っていませんでした。だから、社協さんが受託していないということだと思うんですけど、そこら辺を、社協さんがしないから進めてないんじゃないかと、そこら辺の指導、やっぱり大阪市の市民の皆さん同じように税金払ってはと思うんですけど、うちの区だけがそうやって遅れてたら損しはるなあと思っています。

○福田保健担当課長

今後、介護予防等に関しましては、福祉局でも強化されワーキングチームもできておりますので、7年度に向けていろいろやっていく施策もあるんですけど、また介護予防教室については、保健師が支援している百歳体操の教室とかもありますけれども、この辺も含めて、「なにわ元気塾」については、今後社協にも働きかけ、相談させていただきたいと思います。

以上です。

○田貝委員

よろしくをお願いします。

○長谷部会長

ありがとうございます。

いろんな貴重なご意見いただいて。どうぞ。

○吉川委員

皆さんこんばんは。僕の意見は竹内さんと似ているところがあると思いますが、やっぱりこの作成の資料ですね、やっぱりこの住之江区将来ビジョン、これとこのカラー、きれいなこの資料、この印刷で、たくさんカラーがありまして、どちらが見やすいかなと、皆様。僕にはこっちのほうが見やすいなと思います。こっちのほうが、これでコストも低いと思いますし、そういうところ、同じかもしれませんが、皆様に検討していただきたいなと思います。コストのことも考えながら、安い単価で、何でこんな必ず、こんなカラー刷りにする必要があるかどうかですね。それ1つ。

また誰かがこれを資料を作ったので、何のためにこれを作っていいよと、このカラーでね。それで、これは僕が本当に読めないから、これが事業一覧ですね、その予算、何でこんな小さい字で、2枚にしてもらってもいいですか。見えない。

それで、僕も前回のときに、僕は外国人からこちらに日本人になって、委員として、もう今年10月でいっぱいになるんですね。もう満了になるんですけどね。

僕は恵まれているんですけれども、日本に来て。だから、委員になりたかったらなっていて、僕も何か意見するのに、皆さんに何か力になれば、今はもう1年半、もうほぼ満了の時期になるので、この資料を見ながら予算とか、ものすごく言葉づかいと分からない。竹内さんも言われている。

ものすごく綺麗な言葉ですね。安心まちづくりとか、魅力のまちづくりとか、心から誇りを思えるまちとか、こういう言葉、たくさんあるんですよ。

いや、僕も見てもものすごい、住之江区の将来的にもものすごくいいなと思います。ものすごくうれしいのですけれども、今は、我々のこの令和7年、いつか。何年目ですか。竹内さんも言われるように、去年と今年とは違うんですか。最初から今まで何か変化がありましたか。

それで、これを見てすぐ分からない。よくこれまで1日かかるから。じゃあ、C

h a t G P Tを使いましょう。アップロードして、去年の分と今年の分、アップロードして、去年と今年どういう言葉使い、どういう違うところがすぐ分かってるんです。C h a t G P Tは、政府の部門でちょっと誰かに答えてほしい。使うのはだめですか、あるいはいけますか。

以上です。

○長谷部会長

今のお話について、何かおっしゃられることがありますか。

もう1つちょっと確認しておきたいんだけど、例えばもうこんなカラー印刷は要らんやろと。

○吉川委員

僕にはこのカラーより白黒のほうが見やすいです。

○長谷部会長

そういうことね。

○吉川委員

でも、ほかの方がどうなってるか分からない。これはコストがかかる、僕はカラーではやめて、白黒で十分だと思います。

ただ、それは2枚になるはずなのに、見えない。

○長谷部会長

もうちょっと見やすくしてもらって。

○吉川委員

コストがかかっても、これは皆さんに見えるように。

○長谷部会長

A4じゃなくてA3ぐらいにしろと。そういうことね。

よろしくお願いします。

○吉田副区長

すいません、予算事業一覧、確かにこれちょっと小さくて、A3でするなり、もうちょっと見やすくすべきやったと思いますんで、次回から、資料の大きさ、文字の大きさとか、そういったものについても、工夫していきたいと思います。

あと、将来ビジョンと、この7年度、6年度の資料、これについて当初、初めに説明が漏れていたんですけど、将来ビジョンという部分につきましては、今後、おおむね5年先を見据えて、こういう方向性でいきたいといったものですので、方向性について、主に書かせていただいている部分です。

こういったものを目指していく、目指すべき方向性。それと加えまして、大阪市の場合、毎年度、じゃあ実際どんな具体的な取組をするかというのを示しなさい、ということが言われてまして、こっちの方というのは、令和7年度に予算を組んで、具体的に何をするかというところを書かせていただいています。

だから、これは5年先を見据えてますので、将来的にどちらかといったら理想的に5年先にはこういう姿になりたいという形なんですけれども、実際にすぐに、来年すぐそれが全部できるかというところ、なかなか難しいところもございますので、とりあえずそれを踏まえて、来年度はここまでやりたい、事業的に予算をつけていきたいという部分でつくらせていただいているのが、こちらですので、こちらの方がどうしても細かくなりますし、予算をつけるんでどういう分析をしたのかとかそういったことも議会とかから求められますんで、結果からするとちょっと分かりにくい形にはなってますけれども、情報量の付け方が、そういったような形になってますんで、細かい情報なり、こういう分析に基づいて来年度はここまで予算を付けます、付けさせていただきますというような部分を、説明させていただいているところになってきている。

ただ、どっちかというところ、将来的に、5年先とかにはこういう姿にしたいというのを分かりやすく書かせていただいているのが、この将来ビジョンというところで、資料の部分でいうと、そういった性質がある、とは言いつつ、こちらについて

も、できるだけ分かりやすくということで、この間もいろいろ工夫しながらやってはきているんですけども、まだそういう意味でいったらまだ追いついていないのかなと思いますんで、今後ともご意見をいただきながら、そういう部分を、修正しながらやっていきたいと思います。

ただ、申し訳ないんですけど、必ず書かなあかん項目とかそういったものが決まっていますんで、省くことができないので、そこを埋めにいかなあかんとか、そういった部分がございますんで、こんなこといらんのちゃうかと思われる部分もあるかも分からないんですけども、議会への説明とかそういった部分で、どうしてもそういう項目を外したほうが見やすいという部分も分かるんですけども、入れなあかんというところもございますので、その辺だけはちょっとご理解いただければなと思っています。

○長谷部会長

大丈夫ですか。

○竹内委員

いや、私もそういうことだろうなと思って資料を見てましたけれど、将来ビジョンは今おっしゃったように、5年ごとにこうやっているわけで、今回変わりました。変わってるんですよ、5年。

この過去5年というのは、実はもうコロナでやりたいことがなかなかできなかった、地域が本当できなかった5年間だったと思うんです。それで、もともとの過去の5年でやろうとされたことができなかった部分ですけども、それを今度、将来、これからの7年度からの5年でやろうというところを、やっぱり過去の出来なかった部分を織り込んで、さらにもっとよくしていこうという、そういうような意気込みの資料、将来ビジョンだなというふうに思いました。

その辺りを何かこのフォーマットは市が決めてるものだと思いますけれども、それも理解しますが、やっぱ書いてる中身、実際に単年度としてやる、5年の計画の

中の1年目に何をやるんだという、やっぱりさっきもちょっと言いましたけど、強化という話だったら、実際5か年で強化していくはずなので、もうその1年目はこういう取組をやります、2年、3年、4年、5年というのは、やっぱり頭の中にあると思うんで、その辺りはやっぱり書いていただかないと読めないなと、理解しにくいなというところなんですね。

非常にそのあたりの資料のカラーのお話は、僕はカラーでなくてもいいと思います。カラーにしている意味がないというか、この資料、分かりにくいです。いつも言いますけれど。そういう印象ですね。

1つだけ、もう細かいことですけど、今日の資料の、1ページの資料の大きく2つ上と下に分かれていて、2-1の「支え合い安心して暮らせるまち」というのと、真ん中から下側から2-2、「活力と魅力のあふれるまち」と、こうなっていて、それぞれ1行目のところ、4ページを見なさいとか、9ページを見なさいと、これと関係しますということを、4ページを見たときに、これを進めていったら、課題のところに専門機関と連携して支援できる課題解決に自律的に取り組む地域づくりというのが、4ページに書いてないんですよ、そういう表現が。

下の方も、課題、この多様な主体の活動とその連携に仕方とか何とかいうのも、9ページにこの言葉が出てこないんですよ。

具体的取組の、取組内容は後ろに、5ページとか7ページに出てくるんですけど、4ページを見なさい、9ページですと言うところは、見たらこの言葉、この表現が出てこないです。ちょっと何か飛んでるような気がしました、読むときに。ちょっとこれはどこかに何かあるのかなと一生懸命に考えたのですが、なかったもので、ちょっと分かりにくいなという、そういう印象を持ちました。

○田貝委員

専門機関は、どこってなりました？

○吉川委員

副区長。先の僕の質問が答えてもらっていない。副区長には、このカラーのやつと白黒のやつが、副区長にはどっちが見やすい。このカラーと、この白黒。

○吉田副区長

両方とも、それを伝えるべきものを入れて、できるだけ見やすく作っているつもりではあるんですけど。

○吉川委員

分かりました。それ1つね。

もう1つ、C h a t G P Tは、区の方が、政府の方が、今使うのが禁止ですか。あるいは、皆さん自由に使えますか。

○吉田副区長

禁止はされておられません。

○吉川委員

自由に使えます？

○吉田副区長

仕事上で活用することは可能です。

○吉川委員

勧めていますか、皆さん使ってくださいとか。区長さんから皆さん、A Iですから、早めに使ってくださいと、そういうことじゃないですね。

○吉田副区長

今、全員が使えるような形にはしています。

○吉川委員

そうですか、全員。C h a t G P T。C h a t G P Tは全員使えるように、そういうシステムがある。

○吉田副区長

C h a t G P Tのメーカーは違いますが、A Iの大阪市内で入っている分は使え

るように入っています。

○吉川委員

チャット式のオープンA I のやつじゃないんですね。分かりました。

もう1つは、区長の任期が何年ですか。

例えば、副区長ですから、また区長に上がるですね。任期が、この住之江区、任期がどのくらい期間、何年間で交代するんですか。

○吉田副区長

極端な話、僕含めた職員の任期というのはないです。1年で変わる場合もあれば、5年いてる場合もあるし、毎年人事異動という形になりますので、定められて何年間というのはございません。

○吉川委員

ああ、なるほど。

○吉田副区長

区長につきましては、今、公募区長、公募制をとっておりまして、今住之江区の区長は公募区長になっています。そのときには、任期としては最長4年間ということで公募されてますんで、公募区長の場合は、任期は一応4年。ただ毎年ずつ更新になるんですけれども、4年間の更新までということになっています。

○吉川委員

そしたら、区長はもう何年か何年間すごく頑張ってやってもらってるのか分からないんですけれども、それで最長4年間なのに、何でこのビジョンとか、5年間つくるのですか。5年間、今つくって、区長とか、あるいは役員が変わって、それはだめよと、変える可能性がありますか。そういうリスクとかありませんか。

中国では、外国では、5年間の計画、10年間の計画、皆書かれてるんですよ。日本も多分あるんですけれども、これ5年間のそのビジョンとして、世の中に今、ChatGPTでてきて、2年、3年、世の中に我々の生活がものすごく変わってくる、

ものすごい変わる時期になってくるので、5年間のビジョンと、もうちょっと短くて、具体的なビジョンでいいんじゃないかなと、僕は思ってるんですよ。

そういうことで、以上です。

○長谷部会長

すいません、オンラインで参加されてます中川さん、こんばんは。

○中川委員

こんばんは。

○長谷部会長

ずっとお聞きいただいてたと思うんですけども、今日の議題について何かご意見ありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

○中川委員

特にありません。

○長谷部会長

了解です。どの時でもいいんで、もし思いつきましたら、また挙手してお知らせください。よろしくお願いします。

今の件は、またいろいろとまた検討していただくということで。

○吉川委員

いや、副区長からもう答えてもらってるよ、今日。聞きたいけどね。

○吉田副区長

まず、職員は一斉に変わるわけじゃございません。だから、課長も含めて誰が何年いてるかとかいうことがないので、それは行政としての継続性も含めながら、ただその年、その年で見直すべきところは見直していきます。

その中で、大阪市として、一定とは言いつつ毎年コロコロというわけにはいかないんで、期間的におおむね5年間としてビジョンをつくると。その中で、もし見直さなあかんねやったら見直さなあかんで、そのときに見直しとして、もう1回かけると、

ビジョンをつくり変える。そういった形になりますんで、職員が例えば、僕が３年目から３年でまたころっと変えちゃうとか、そういう形ではないので、それぞれ引き継ぎもしながら、そこの中で関わっていく、僕もそうですけど、今年こう思ってたも来年状況が変わればこれは変えたほうがいいんじゃないかなという。

○田貝委員

議長、もっと進行を進めてほしいです。時間がもったいないです。

○吉田副区長

そういったことでやっていきますんで。

○長谷部会長

そのぐらいでいいですか。

○吉川委員

時間がもったいないって、何ですか。時間がもったいないって。でも答え。

○長谷部会長

谷本さん、どうぞ。

○谷本委員

私もしゃべっていいですか。

○吉川委員

しゃべっていいよ。

○長谷部会長

皆さんに意見をいただかないと。

○谷本委員

すいません、すごい久しぶりにしゃべらせてもらうんですけど、これはすごい、めっちゃめっちゃ読みやすいです。これホームページからダウンロードしないと見れないんですかね。これはPDFで、印刷しているのはこれですか。これは何か冊子とかはあるんですか。

○竹内委員

あります。

○谷本委員

あります。そうなんですか。これすごいいいと思うんで、例えばいろんな町会長さんだとか、そういう人にも見てもらうべき内容じゃないかなと思うんです。

というのが、先ほどもほんま田貝さんとか竹内さんも一生懸命、すごいいろんな活動をしてはるから言ってるんですけど、やっぱりすごい熱心なところと熱心じゃないところの温度差ってすごくあると思うんですね。

うちの町会も、そんなに熱心じゃないんじゃないかなと実は思うんですよ。というのが、行事はやってますけれども、でも同じ人ばかりがやってるんですよ。ほかの人たちを巻き込んでとかじゃないので、結局同じ人たちが同じことをして、ずっと何年もやってるみたいな感じで。

さっきおっしゃってたみたいに、コロナでいろんな町会の行事とかもなくなったりとか、やらなかったりとかあったんですけど、そこでやっぱりこれは必要ないやんとなくなってしまった行事とかもありますし、結構そういうのって、子供関係のものが多いんですよ。

お年寄り向けのものとかは、結構復活してるんですけど。子供向けのものはもうそのコロナの間に、自分たちで探して、ほかに楽しめるものとかが見つかったりとか、コミュニティを作ったりとかで、もう子供会がいらないんじゃないとなって、子供会がなくなったりとか、そういうので子供さんがいる家庭とかの横のつながりというのが、もう本当に少なくなってきていて、今どこに何年生が住んでるとか、私も全然子どもが小学校卒業してしまったら、どこにどんなお子さんがいるか全然知らないんですよし、集団登校もなくなったので、どこに何年生がいる、どういうお子さんがいる、小学生はこれぐらいいるとか、そういうの全然分からないんです。

そういうがあるので、だから地域でやっていこうというのがあっても、そもそ

ものつながりがなかったら、やっぱり盛り上がっていかないですし、じゃあ盛り上げていくにはどうしたらいいか、やっぱりお互いを知らないとだめだよねとなるんですけど、このご時世なんで、どこまで踏み込んでいいのかというのがあるじゃないですか。

どこの家庭のどこまで踏み込んでいいのかみたいな、家族構成はどこまで聞いていいのかなとか、今って名簿も作っちゃだめじゃないですか。子供会でも名簿を作っちゃだめだし、先生に、どこどこに住んでる子のお母さんと連絡を取りたいから教えてもらえませんかといっても、それは個人情報だから教えてもらえませんが、直接聞いてくださいとなるし、誰にも頼ることができなくて、自分の力で切り開いていかないといけないというような時代なので、そういうときに、地域で協力してやっていきたいと思いますというのは、すごく難しくなってると思うんです。

昔みたいに、おせっかいな人がいたりとかで、もうああしなさいとか、これを見なさいとか言う人がいたら、もっと地域の活動って、すごい活発になってたと思うんですけど。今ってとても、本当にコロナがあって、拍車をかけてるというか、すごくもう個になってるというか、集団じゃなくなってると思うので、そんな中ですごく理想的なビジョンだと思うんですけど、進めていくのはもうめっちゃめっちゃいろんな課題があるんだろうなというふうに思います。

多分、区役所の方とかは、すごくこう仕上げたい、こう仕上げたいというのも、田貝さんとか竹内さんと一緒に、こういう困ってる人にはこうしてあげたいという気持ちはめちゃくちゃあると思うんですけど、じゃあどうしたらいいというのを、分からないところもあると思うんです。

そういうのを私たちに聞いて、どうしたらいいですかというのを聞いてるんだと思うんですけど、私たちのほうから、こういう資料のこういうところをこうしたらいいとかいう欠点というか、悪いところとかを言う議論だけで終わってしまうと、この時間がとてももったいないと思います。

そうじゃなくて、やっぱり内容のことを言うべきだと思うし、今この住之江区に住んでる人が何で困ってるのかというのを、まずしゃべって、それに対して住之江区の人がどういうことをしてきた、区役所の人がどういうことをしてくれるのかというのを聞きたいんであって、何か自分が困ってることとか、もちろん私も困ってることとかありますけど、そういうのを役所の人に何かぶつけたからって、どうなるというわけでもないんですけど、でもやっぱりすごく最終的に困ったらやっぱり頼るのは区役所の人とか、そういう役所の人だろうと思うし、何かうまく言えないんですけど、私はもっと内容について語りたいです。

こういうもう資料とかのありようとかは、二の次じゃないかなと思ってて、だから私は今日、言っても多分2年目になってるんじゃないかなと思うんですけど、1年目のときに出ていたのが、どういう課題でこういうことをしました、こういうことになりましたというのを、例えば箇条書きでもいいので書いておいて、今年はそれに基づいて、こういう活動をします、こういうふうにしていきたいです、というのをもっと最初に分かりやすく書いておいてもらえれば、議論にも入りやすいのかなというふうに思うのと。

あと、すごい今は住之江区って、高齢化が進んでるというふうに、ここでも毎回出ているんですけど、ちょっとこれはもう本当に私の個人的なことなんですけど、資源ゴミというか、缶・瓶のゴミの日に、近所のお年寄りの方が、近所中のゴミを1回開けてあさって、アルミ缶とかを探しているんですね。

その姿を見てとても切なくなるんですよ。何かこういうことって、多分アルミ缶を回収して換金されてるんだと思うんですけど、何か人の家のゴミをあさってまでしないといけないのかなと思ってしまって、この間教えていただいたポイント制の65歳以上の、ああいうのをもっと知ってもらったら、そんなことしなくていいんじゃないかなと思うんですけど。好きでやってるかもしれないけども、寒い中あんなお年寄りの方が、もうヨボヨボやのにめっちゃ自転車でこんなでっかいアルミ缶の束を持って

行っているのを見ると、何かもうちょっとしんどくないことしてもええんちゃうと思ったりもするんですね。

そういうのを積極的に何か教えてあげられるようなこととか、私がそんなん言うわけにいかないじゃないですか、直接話しかけてそんなんしなくてもこういうのポイントとかで、ほかにできることがありますよとか、いう訳にもいかないんで。でもやっぱり人の家のゴミをあさってるという事実はあるし、それを嫌に思っている人もいるというのも事実なので、迷惑がかかってる場合だってあるじゃないですか。別に1回出したゴミやから、もう別に見てもいいよというのものもあるかもしれないけど、自分の家が出したゴミをあさられるのは、嫌な人だっているかもしれないじゃないですか。

そういうのを何とかならないかなというふうに、この間聞いたやつでそういうのを教えてもらったら、そういう人もいなくなるのかなというふうにちょっと思いました。

すいません、これはすごい個人的なことなんですけど、別に全然、住之江区の区役所の方にやってもらおうとかそういうふうに思っていないんですけど、何かそういうのがなくなるというわけじゃないんですけど、思ったことを言っただけで、すいません。ちょっともうしゃべるのが下手で申し訳ないです。

○長谷部会長

ありがとうございます。本当に貴重なご意見だと思いますので、我々も、そういうことを聞いて、いろんなこの会議の在り方もこれからもっと変えていかんといかんこともあるだろうと思います。

お時間もう大分詰まってきました。最後に大西さん。どうぞ。

○大西委員

ちょっと具体的取組のほう、2点ほど少し教えていただきたいんです。

1つ目が、具体的取組2-1-1のところの、職員の方の職員の「気づき」や「感度の向上」を上げていただくような研修を実施いただけるという、これは非常に

いいんですけど。見ると多分、今予算もついてないので、多分お金をかけずにやりましょうということなんですけども。僕らのような民間ですと、やっぱり職員とか社員の研修というのは、今一番力を入れているんです。ですから、住民の方のサービスってやっぱり職員の方がどれぐらいそういうような、やっぱりスキルがあったりとか、やっぱり感度が高いというので、なかなか予算をかけずにやるというのはちょっと限界があると思うんです。

できたら、今年度、来年度は難しいと思うんですけども、ある程度先ほどおっしゃったように、将来ビジョンを、5年後にこういうふうになりたいという中で、やはり職員の方の教育みたいなものにもやっぱり力を入れていただけるような、そういうやり方をしていただければいいのかなというふうに思います。

その中でも、なかなか職員のアンケートだけで、本当に住民の方の気づきというのは分かるのかと。自分たちのアンケートだけで、もう住民の方が気づいてくれたねというのはなかなか、そういうのが分かりにくいので、よかったら住民の方のどのような形で、職員さんとコミュニケーションが取れているかみたいなものでも、こういうのを図るのもやっていただきたいというのが1点と。

もう1つは、2-2-2のところ、最後のところで、ポータルサイトの運営をこうしていただいているんですけども、1ページ目に利用状況の検証というのがあるんですけど、恐らくこれ今、ポータルサイトがどのような方が見られているかというようなところが、今多分把握されていないと思うんです。

ただ、せっかく情報発信してるのに、例えばどんな人が見ているのかとか、例えば住之江区の方が見ているのか、それとも住之江区の方以外の方が見てるのかによって違いますし、このポータルサイトを誰に向けて発信するのかというのを考えると、やっぱりどんな人が見てるのというので、そういうような利用状況を分析しないとなかなか分からないんで、そういうところも合わせて、やっぱ来年度は難しくても、将来的にはこの5年間の中で、そういうところも検討していただきたいかなと思います。

以上２点です。

○竹内委員

今の件で。

○長谷部会長

お願いします。

○竹内委員

私もそこを後で言わせていただこうと思っていたところです。「気づき」の話、この「気づき」の研修というのは、去年もやられて、来年もやられます。

５ページの指標の欄が、肯定的な回答の割合が８０％以上ということで、去年はこれ５０％以上だったので、割合を上げられたなど、指標が、ということが気になっていたのです。

要は、この最初に申し上げた区役所の機能の強化という今回の大きな方針、変更というかのところで、この気づくことをこの研修だけで終わらせたらいかんと思っていて、それを要は習慣化するというか、やらないといけない。

前も申し上げたと思うんですけど、トヨタの改善活動であったりとか、インターネットでやっている提案制とか、ヒヤリハットとか、これを必ず毎日、毎月でも、要は何を気が付いたかいうのを、書き出していくということで、それでトータルで集計していく。

とにかく、職員の人気がついたことを書くという、書いて発信するというか報告するというか、そういうことを今やれば習慣化していく。気づく目が絶えず何かに向いているという事だと思うのです。

これは我々というか、私もさっき言いましたけれども、民間の方でやったということを上げたかったなど。

あと、もう１つ、ポータルサイトのお話ですね。ポータルサイトは私も使わせていただけてますが、非常に私が使わせていただいている段階で、ちょっとあんまり

発信するチャンスがなかったんですけど、すみのえ情報局を見ると、トップページを見たら、これは何を発進したいのやということ分からないんですよ。南港の写真と、それから会長の写真2枚があって、あと何かバナーが貼ってあって、登録団体の問い合わせはとか、バナーが貼ってあるんですけど。それを、ほかの人が見たときには入っていけないと思います。あのトップページは変えはったほうがええと思いますね。あれでは、住之江区について何か見ようとしたときに、本当に見にくい、どこにあるか分からない。

最近をよく私もやってますけども、SNSでインスタで発信したとき、あれも何か知らん人が発信したのに、はっと最初の一瞬の何秒かでこれ見てみようとかとなりますよね。そのぐらいの発想、見てもらうという発想が必要だったと思うんですけど、そこはちょっとかなり変えないといけないと思います。

だから、さっきおっしゃったみたいな、ここのこのバナーって、ここの団体は何件アクセスあったとか、今月今年度アクセス何件あったとかいうデータがないのかなと。あったらそれを、それぞれあそこに登録されている団体にフィードバックされたらいいと思います。今月こんなに見はった人がいます、いうのもあったらええと思うし。

あともう1つ、すみのえ情報局を使わせていただいて、何かアップされたらこうプッシュ通知で何かアップされましたよ、みたいなものが入ってきたらいいなと思います。いろんなところでそういうプッシュ通知が入ってきますよね、何か。

○田貝委員

LINEとか。

○竹内委員

何でもありますよ。そういうのがすみのえ情報局では、何かアップしましたというのが、ぽっと入ってきたら、見に行くと思うので、そういう仕組みもあったらいい

かなというふうに思いました。

あともう1つ、スマホのお話がありましたよね。ちょこっとスマホ。ありましたですね。

実は、私は南港でスマホ教室というのをやってるんです。そうです、12ページの。

今、高齢者でスマホ持ってはる人が非常に多いんですけれども、使えない人も多いんです。スマホ教室というのは、老人福祉センターでやられています。

ただ、私は南港なので、南港からわざわざ行くというのは、なかなか皆さんやらないんで、いろんなそのスマホを知りたい、使いたい、独居の高齢者の女性で、ご主人亡くなって独居なんですけど、娘さんからお母さんこれを持っときとスマホを渡されたけれど、私電話もかけられへんと言って、私のところに来はって、それやったら教えてあげますと言って、始まったんですけど。ずっと去年1年間、僕やりました。30回以上やりまして、延べで230人くらいの方に、スマホの使い方をいろいろ教えさせていただいたんですけど、ニーズは非常にあります。

そういうことで、「スマホちょこっと相談会」みたいなものは、ずっとやっていただいたらいいと思うし、ただ、それをやるのが結構2パターン、本当は高齢の方、1対1で付いてあげないといけない。1対2ぐらいでもいいでしょうが、本当に付いてやってあげないといけないので、頭数が多いのですよ、サポーターの。

サポーターの養成講座というのも、老人福祉センターやってはるんです。それは老人福祉センターでスマホ教室をやるときのサポーター。地域に出て行ってサポーターをやってはれんかなと思います。

僕、南港でこんなことやってるから、ぜひ、サポーターの方に来ていただいて、手伝ってもらえませんかと言ったら、いや、これは老人福祉センターでやるためだけですと言われて、断られました。

その辺でちょっともったいないなと。せっかくその思いを持って、スマホのサポ

ーター養成講座を受けはった人が何人もいてはるのに、それをうまく使えてないなと思っていて、そのあたりはぜひとも、地域へ出ていけるような形にしたらいいかないかというふうには、つくづく思っています。

○長谷部会長

もう時間も、時間ですので。

○田貝委員

ですけど、いいですか。すみのえ情報局の地域活動協議会のところがあると思うんですけど、各町会がアップしてはるんですけど、ゼロのところもあれば、もう何ぼもあって。不思議やなと思ったのは、例えば、さざんか加賀屋協議会なんか3投稿しかしてへんのに、閲覧数が7, 397とか、もう莫大な数だったりとか。住吉川さんみたいなのところもあるし、すごいすみのえ情報局に力を入れてるという割には、区の全部がやってあげるわけにいかんけれど、何とか最低限のレベルまで行くというか、そこまでフォローを、せっかくつくられたのに、残念やなと思っていますので、そこら辺を押しなべてできるようになったらいいかなと思っています。

もう1つは、この予算のところで、今回新しく14番で「地域資源を活用した住之江ブランド力向上事業」というので、6年度はなくて、7年度に初めて上がっている事業があるんですけど、この住之江ブランド力向上事業って、一体何なんだろうというのが、すごい気になりました。

○井平協働まちづくり課長

今のところだけ、ちょっと。

その事業につきましては、毎年開催している会所会という事業で、加賀屋新田に、加賀屋新田跡というのがございまして。

○田貝委員

分かります。

○井平協働まちづくり課長

住之江区の中の文化施設のなところになっています。6年度は耐震改修で閉まってまして、今年度だけお休みしてます。なので、5年度もやってますし、来年度も復活させるという意味で、予算がこうなってますので、継続した事業になってございます。

○田貝委員

あれを住之江のブランド力と思っておられるということですね。

○井平協働まちづくり課長

今はそこでやっております。ただ、いろんなことをやっていきたいんですけども、そんなに資源があるわけじゃないので、今はそこを活用して、住之江の情報発信をしたいというわけで、今取り組んでいるものです。

○田貝委員

ありがとうございます。

○井平協働まちづくり課長

あと地域のほうなんですけど、おっしゃるようになかなかできているところと、できていないところがありまして。地域への支援ということで、各地域でお困り事というのはそれぞれの地域で違います。情報発信ができないとか、担い手が少ないとか、地域ごとに課題を聞いて、その地域に合った支援をやりたいということで、まちづくりセンターのほうで、いろんな支援を進めていきますので、徐々には自律的な活動ができるようになってるんですけど、なかなか一足飛びにはいかないなので、毎年地道に取り組んでいきたいということで、そこを徐々に強化して、一步一步ですけど、各地域が単独で自立していろんなことができるようにしていきたいと思いますので、また引き続きこういう場でいろんなご意見をいただきながら、そこを参考にしてしっかり地域とも連携して進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○長谷部会長

もう1つ。

○竹内委員

まちセンさんの今、お名前が出ました。まちセンさんの受託会社が変わって、去年の4月から変わって、ずっとこういう活動されてきて、前にF a c e b o o kのフォローの人数が少ないというような話をさせていただきました。まだまだ少ないですけど。実はこの間の金曜日に、まちセンさんが南港に来られて、まちセンカフェみたいなのをやられて、南港限定みたいな感じでしたけど、そこに南港の企業さん、西尾レントオールさんが来られて、大学の先生の案内に引っ張られてきたということで、さっきのお話みたいに、地活動としての問題点、やる人がいなくなって、そのあたりのイベントをやろうと思っても、できないんですよみたいなお話があったんですけど。

そのとき、僕はたまたま思いついて、南港ポートタウンは1977年に街びらきして、2027年には50年を迎えますと。50周年の何かイベントをやりませんかみたいな話をしたら、そこからめっちゃ盛り上がったんですよ。

まちセンさんもそれはいいですねと、南港地区限定になってしまうけれども、企業、あるいは大学とかいう、それぞれの特色なり、思いを持ち寄って、かなりできるんじゃないのみたいなお話になってきたんです。

だから地域の活性化というときに、1つの大きなイベントなんかやろうやということで、住民とか、企業とか一緒にやっていく。また、地活協というのは残念ながら企業さんが入ってるところも本当に少ないと思うんですけど、企業さんは本当に地元とというのに、入っていくよりは、もう大きな目で見てもいいと思うんですけど。だから南港には西尾レントオールさんとかミズノさんとか、それからATCということで、かなり企業はあるんですけど、一生懸命、今、地域貢献しようと、共創と、共に創るという感じで動いてはる。そういう思いを持っている企業がたくさんあるということです。それをいかに住民と結びつけるかということで、まちセンさんが動き出しはったというか、活動をされだしはったんで、ちょっと今楽しみにみているところで、うまくまちセンさんとの連携とかいう部分は伝えていただいていますので、ぜひともその

あたりは、うまくバックアップしていただけたらと思います。

以上です。

○井平協働まちづくり課長

分かりました。ありがとうございます。

○長谷部会長

どうもありがとうございました。

ほかにいろいろとご意見があろうかと思いますが、今日は決められた時間もちよっと過ぎておりますので、これをもって本日の会議を終わらせていただきたいと思います。

今日いろいろ皆様から貴重なお話、ご意見いただいておりますので、役所のほうとしても、できるだけ対応して、いろいろとお話がありましたように、なお一層資料等も分かりやすく作ってもらいたいというようなことも踏まえて、今後もこの会議は非常に委員さん自体もやりやすいような資料作りとか、いろいろ考えていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日はこれで、閉めさせていただきますが、最後に、役所から、何かご意見ありますか。

○岩本生活支援課長

すいません。生活支援課長の岩本と申します。

「気づき」の研修に関してのご質問なんですが、内部の研修だけでは十分に効果が得られないかというご趣旨だったと理解しております。

大阪市では、福祉局に登録されました学識経験者などにつきまして、研修に際しては区役所から派遣を依頼できるようになっておりますので、そういった仕組みの活用も検討していきたいなと思っております。

またアンケートにつきましては、職員が相談対応を行う中で、相談される方の状態に気づくことによって、区役所の他の部署、あるいはその他の関係機関にうまくつ

なげることができるかを確認しておりますので、住民の方ではなく、職員へアンケートを取ることを考えております。

また、気づくことを実行する習慣にしなければならないというご意見もいただいたと思います。役所もいろいろ人事異動がありまして、新しい人、今新しく区役所へ変わってきた人というのもおりますので、継続的に研修を実行してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○長谷部会長

それでは井平課長にお願いします。

○井平協働まちづくり課長

長谷部会長、ありがとうございました。

本日は長時間にわたりまして、ご議論いただきありがとうございます。いただいた意見につきまして、お答えできていないところなどにつきましては、また区役所の考え方なりをお示しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

いただいた意見をしっかりと受け止めまして、今後の区政に反映していけるよう取り組んでいきたいと思います。

本日の議論を踏まえまして、部会長より指示がございました全体会で報告する資料につきましては、事務局と部会長にご一任いただいてもよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○井平協働まちづくり課長

ありがとうございます。

それでは住之江区区政会議、愛しむ部会を閉会いたします。

また、3月14日金曜日に全体会の予定をしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

以下余白